

大地を巡るリレー講演会

- 暴れ川・常願寺川の災害史を学ぶ -



常願寺川流域における災害について、富山県「立山博物館」の高野館長に歴史学の視点でご講演いただきます。越中の先人が残した生の記録から、当時の人々が未経験の自然災害をどのようにとらえ、どのように対応したのか。自然災害への向き合い方を知ることで、防災・減災への意識を高める機会としましょう。

写真提供：富山県 立山カルデラ砂防博物館

令和7年 11 月 22 日【土】

時 間 9：30～11：00 （15分前受付開始）

対象者 どなたでもご参加いただけます

参加費 無料

定 員 先着60名（要事前申込）

会 場 富山県教育文化会館 集会室
〒930-0096 富山県富山市舟橋7-1

申 込 いずれかの方法でお申込みください。
①右の二次元コードよりお申込みください。
②電話またはメールで参加者氏名をご連絡ください。



講師

Yasuhiko Takano

高野 靖彦 氏

富山県「立山博物館」館長

富山市生まれ。金沢大学教育学部卒。富山大学人文科学研究科（修士）修了。富山県立高等学校、富山県立山カルデラ砂防博物館に勤務し、現在は富山県「立山博物館」館長を務める。古文書や絵図などの歴史資料から被害の実態や復旧・復興の歩みを研究。主な著書は『安政飛越地震の史的研究』、『立山観光ヒストリア』など。